

草莽愚鈍生兵衛曩者歎願スル処アリ、
書ヲ上ル事二回、然レトモ遂ニ御許容ヲ得ス遺
憾孰レカ之ヨリ大ナラン、然レトモ其御許容ナラサル
モ亦故アリ、今又敢テ贅セサル也、然ルニ昨日聞
我日本支那ト隙ヲ構フ、台湾ニ在ル処ノ兵

已ニ戦争アリタリト、而シテ大久保利通殿長崎表
出張相成タリト、生之ヲ聞テ不覚切齒扼腕、噫

是男児方ニ国家ノ為メニ身ヲ致ス為シアルノ

秋也、然レトモ生ノ如キハ驥尾ニ附スルニ非サレハ素ヨリ
数歩ノ行ヲナス能ハス、然ルニ支那孱弱ノ如キハ

恐ル、ニ足ラス、且征定旬日ヲ出テベカラスト雖トモ亦

依然タル一大国ニシテ容易ニ之ヲ蔑視スル事難シ、

故ヲ以テ或ハ 執事ノ御出馬ヲ煩シアル

モ知ルヘカラス、若シ御出馬ヲ煩シノ期アラハ生

ヲ以テ一ノ従僕トナス御供從ニ相成候ハ、生孱

劣トイヘトモ必死以テ報スル処アラントス、東陬僻

偶ノ者愚ハ素ヨリ愚ナリトイヘトモ、国家ノ為メニ

身ヲ殺ニ至リテハ又大ヒニ他ニ譲ラサルモノアリ、

伏テ願クハ 執事ノ御賢察アラシ

事ヲ慙懼ヲ顧ミス、此段予メ奉願置

候、誠恐誠縮、百拝シテ白

当府下本所緑町二丁目

八月

伊藤與助方僑寓

一戸兵衛 百拝